

授業だより

大東市立住道中学校
第14号
学習指導部
奥村彰悟
平成24年2月13日発行

☆池田先生による研究授業が行われました

去る2月2日に、1年2組の分割クラスで、池田先生による英語の研究授業が行われました。本校では、「学び合い」をテーマに研究授業を行っていますが、今年度3回目の研究授業でした。今回は、Lesson 8の最初の授業です。Lesson 8では「can」の用法を学びます。

授業の初めに「池田先生はギターが弾ける」と自己紹介し、ギターで演奏をしました。そしてcanを使った英文を紹介していました。その後、学習グループになって、グループのメンバーができることを確認し



合い、canを使った英文をそれぞれが作成し、発表しました。



今回の研究授業ではいつもお世話になっている中京大学の杉江教授の他、阪南大学の崎濱准教授、大東市教育委員会の指導主事の先生、市内中学校の先生が参観に来校されました。遠くは鳥取県の中学校から来られた先生にも授業を参観していただきました。

授業が終わった後に、研究討議（授業の反省会）を行いました。今回は、他校から参加していただいた方々からのご意見をいただくことができました。講師の杉江先生からは、生徒たちの主体的な学びが行われていたことや、生徒の参加度が高い授業であったことを評価していただきました。今回の研究授業を活かして、今後も、「学び合い、認め合い、高め合い」の授業を工夫していきたいと思



☆授業の様子

研究授業が行われる前に、5時間目に全てのクラスの授業を講師の杉江先生にご覧いただきました。多くのクラスで、「授業のめあて」「授業の流れ」を示し、グループを活用した学習が行われていました。特に、社会の安川先生の授業では、指示が明確でわかりやすいと評価していただきました。



社会



数学



音楽

☆協同学習とは

本校で「学び合い」の授業を取り入れてから4年目になります。「学び合い」の授業とは、その多くが「協同学習」であり、本校での研究授業で取り組んでいるものです。今回は住中がお世話になっている杉江先生の『協同学習入門』を参考にして、「協同学習」を簡単に紹介します。

「グループ学習＝協同学習」という捉え方が多いようですが、グループ学習は協同学習を有効に進める方法の一つにすぎません。杉江先生によると、「協同」とは、「学習集団のメンバー一人ひとりの成長が互いの喜びであるという目標のもとで学習すること」です。ですから、協同学習とは何か？と問われれば、「学級のメンバー全員のさらなる成長を追求することが大事なことだと、全員が心から思って学習すること」ということです。

学級のメンバー全員の成長を追求することが大事だと思うのは、学習場面だけではありません。住中で取り組んでいる「授業づくり」と並んで、もう一つの柱である「集団づくり（仲間づくり）」でも、学級のメンバー全員の成長を追求しています。ですから協同学習を授業で取り入れることは、「集団づくり」にも役立っていると言えます。

協同学習を実践することで、今後も「授業づくり」と「集団づくり」に工夫を凝らしていきたいと思

☆実力テスト

2月10日は、私立高校の入試日でした。3年生の多くが「本番」である入試に挑みました。その同じ日に、1、2年生は実力テストを実施しました。実力テストは、いわば入試の練習試合のようなものです。実力テストを通じて、現時点での自分の学習到達度を知り、今後の学習活動に役立ててほしいと思